

輸血部

■ スタッフ

部長	大石 晃嗣
副部長	松本 剛史

医師数	常勤	2名
看護師	非常勤	1名
検査技師	常勤	3名
	非常勤	2名
	(認定輸血検査技師)	4名
事務	非常勤	1名

■ 部門の特色

三重大学医学部輸血部は、輸血、細胞治療、移植、止血、など様々な臨床的ニーズに答えるべく、積極的に検査および活動を行っています。

■ 活動実績

1. 業務実績

- 血液製剤の出庫・管理：平成 26 年度は、RBC 3,635 本、FFP 2,759 本、PC 1,916 本の払い出しを行っています。また、必要に応じて、血液製剤の合成、分割、洗浄を行っています。
- 輸血検査：中央検査部の協力のもと、24 時間体制で輸血検査を行っています。院内だけでなく判定の難しい院外の病院の輸血検査も実施しています。
- 自己血採取：認定看護師を中心に、平成 26 年度は、542 件の自己血を採取しました
- 細胞治療支援：平成 26 年は 6 件の造血幹細胞採取、4 件のリンパ球の採取、6 件の骨髄濃縮を行った。さらに、HLA 検査やクロスマッチなど移植医療に必要な検査を行い、細胞療法や移植医療を積極的に支援しています。
- 止血管理：クリオプレシピテートを作製し、術中や多発外傷などによる大量出血時の止血療法の支援を行っています。
- 血液型カード：不規則抗体のある患者さんに血液型カードを発行し、緊急時の輸血に役立ててもらっています。

2. 教育活動の実績

- 医学部 3 年生、看護学生 1 年生への講義
- 新研修医とクリニカルクラークシップの学生への実習と講義
- 臨床検査技師学生への臨床実習
- 認定輸血検査技師制度指定施設研修

3. 臨床研究等の実績

- 日本輸血細胞治療学会の「クリオプレシピテートの院内調整基準作成タスクフォース」の委員長として統一プロトコールを作成した。

■ 今後の展望

よりきめ細かで専門的な支援を心がけて行きたいと思います。成人ならびに小児・新生児の輸血のサポートのほか、救急外来での輸血・止血管理、移植・再生医療の支援に積極的に取り組んで行きたいと思います。来年よりアルブミン製剤の一元管理を開始します。

http://www.hosp.mie-u.ac.jp/section/bumon/yuketsu/